

世界の歌声

響け、川根本町に

●世界各国の合唱と演奏に魅了された1日

世界はかぎりなく広く、そして一つに繋がっていると
いうことを改めて実感します。

たとえ言葉は分からなくても、無条件に感動できる歌
があります。心ゆさぶられる演奏があります。

たとえ言葉は分からなくても、音楽を通して、友情が
芽生え、育まれていきます。

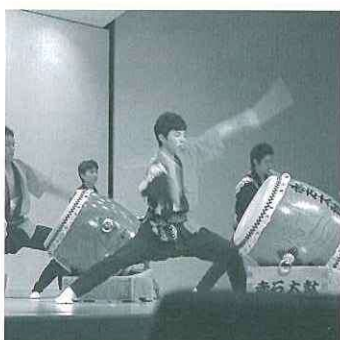
7月25日、町文化会館を舞台に、第10回日本国際青少
年音楽祭（主催：日本国際青少年音楽祭委員会）の一環
として「川根本町コンサート」が開催されました。

音楽という世界共通の手段によって、異文化交流する
ことを目的に3年に1度行われる一大イベントです。

今年、当町で初めて開催されたこのコンサートには、
アルス・ノヴァ青少年合唱団（アルゼンチン）、メリー
ジャ音楽院ユースオーケストラ（スペイン）が参加しま
した。



アルス・ノヴァ青少年合唱団



川根高校郷土芸能部 赤石太鼓



本番前のくつろいだ時間



玄関で見つけた「ようこそ川根本町へ」



満員の観客席



同赤石太鼓 笛



司会進行役の川根高校の生徒さん



階段でバイオリンの練習中



オーケストラ



同赤石太鼓 ステージ下から

日本国際青少年音楽祭・川根本町コンサート
10th Japan International Youth Musicale in Shizuoka

今月の表紙

ドライフラワー体験教室（地名）にて

8月6日、地名で行われた「ドライフラワー体験教室（主催：風の実）」にお邪魔してきました。

当日は、お母さん方や、お母さんに連れられてきたお子さんまで、幅広い年代の参加者でにぎわい、楽しそうな会話が響いていました。

表紙を飾ってくれたのは、教室に参加していた町内中学生ご一行様。ドライフラワーが一段落して、庭でくつろいでいました。

気心が知れた者同士、一番にぎやかな笑い声が響きわたっていました。

会場となった栗原さん別宅は、目の前に大井川が広がっており、川遊びをするにはもってこいの場所です。ドライフラワーの体験はもちろんのこと、カヌーやキャンプを楽しむ姿や、お母さんと川で遊ぶ男の子たちの姿が見られるなど、「夏だなあ」と感じる、暑い暑い1日でした。（記事23ページ）



夏の原風景

9月号 目次

世界の歌声 響け、川根本町に・・・・・	2
日本国際青少年音楽祭 川根本町コンサート	
特集◇シリーズ住民アンケート結果 ①・・・・・	4
「あなたはこの町が好きですか？」	
役場の窓辺から・・・・・	9
国民健康保険税の税率が決定しました・・・・・	12
心ふるえる興奮と感動をありがとう・・・・・	14
奥大井接岨湖フェスティバル	
くらしのカレンダー・・・・・	15
女性の会「あの町この町見聞録」・・・・・	20
田代環境プラザの視察会	
まちの話題・・・・・	21
生涯学習のひろば・・・・・	26
暮らしの情報・・・・・	28
みんなの広場・・・・・	30
学校レポーター'sコラム・・・・・	32

また当町を代表して、川根高校郷土芸能部が赤石太鼓を披露、コンサートに華を添えました。

どの国の合唱・演奏も、素晴らしく熱のこもった曲ばかり。町内外から訪れた観客たちは、1曲ごと惜しみない拍手と歓声を送っていました。

コンサートの後には、出演者同士で打ち解け合い、一緒にあって、記念撮影に興じていました。

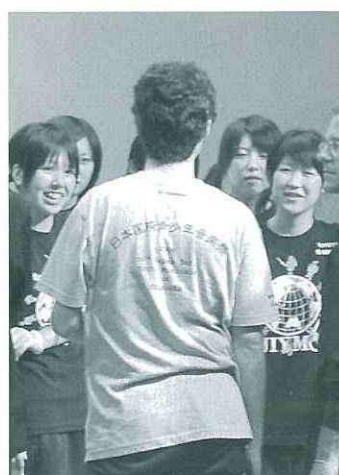
音楽を通じて、国籍や人種を超えた「友情」が芽生えた、笑顔の瞬間でした。



花束の贈呈



アルス・ノヴァ青少年合唱団



打ち解ける出演者たち



ステージを見つめる真剣な目



出演者全員で記念撮影



メリージャ音楽院ユース